

企業ニーズ分析結果

—令和5年度森林コンテンツ育成・普及対策事業より—



2024年2月7日

株式会社JTB総合研究所

アンケートの概要

【目的】

企業等の経営における森林空間での活動の導入に関するニーズを把握し、活動の受け皿となる山村地域でのニーズに沿った体験プログラムの開発や受け入れ環境づくりを促進する。

【方法】

オンラインアンケート(2023年6月)

【調査内容】

企業の森林での活動を6つの分野に分類し、それぞれの分野における導入実績や関心の有無に応じて、導入の目的、感じている効果、導入の課題等を質問。

【調査数】

オンラインアンケート実施機関に登録されている4,268名の母数のうち、国内に事業所があり、企業の経営方針やCSR活動等を十分に把握されている方のうち、

- ・6つの分野の「いずれか1つ以上で導入実績あり」の300名
- ・6つの分野の「いずれも導入実績がない」200名

の計500名を対象に、調査を実施。

アンケートの対象

企業の森林での活動6分野

- ①従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動
- ②森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり
- ③山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成
- ④山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進
- ⑤山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動
- ⑥山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生

①～⑥のうち、どれかひとつでも
導入実績がある企業

回答数300

今後、導入実績のない
別の活動も導入したい
企業

回答数174

①～⑥のうち、ひとつも導入実績
がない企業

今後どれか導入したい
企業

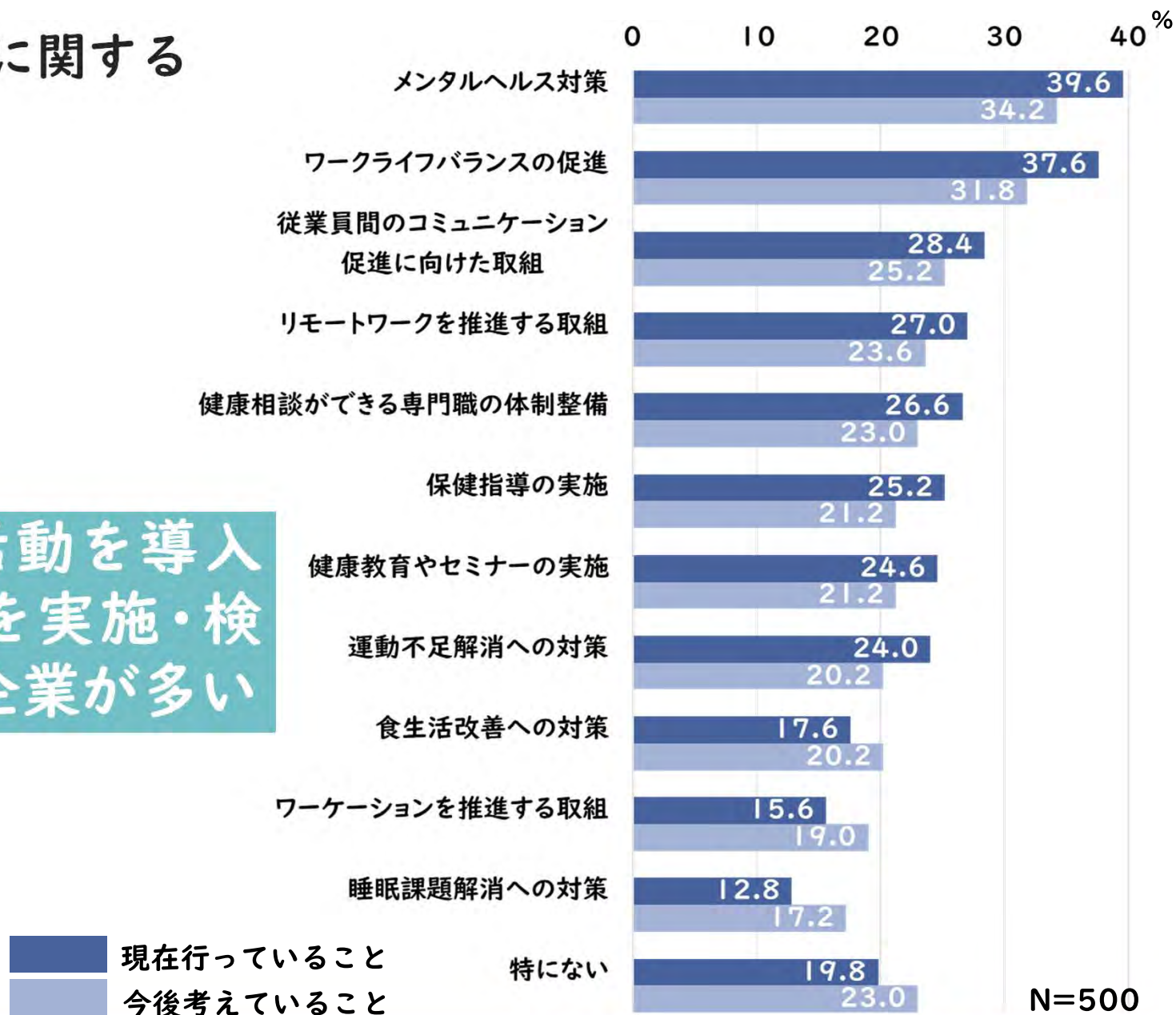
回答数68

回答数200

一 調査企業での健康分野の取組一

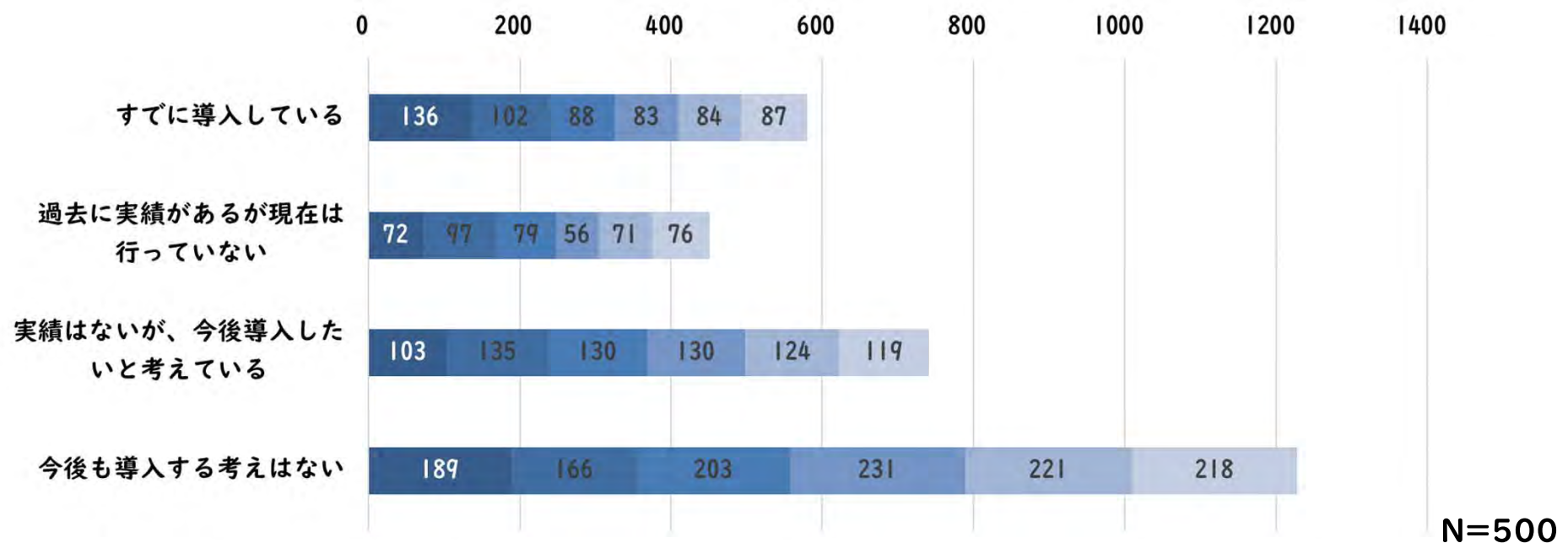
従業員の健康に関する活動について

森林での活動を導入している取組を実施・検討している企業が多い



アンケート結果 -現在の取組状況-

- ・すでに導入されているものは、森林整備等の環境保全活動が多い
- ・今後導入したいものは、森林浴等の健康づくりが最も多いが、人材育成やワーケーション等、幅広い分野で関心をもたれている



■ ①従業員などの参加による森林整備や環境保全などの活動

■ ②森林浴やアクティビティによる従業員の健康づくり

■ ③山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成

■ ④山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進

■ ⑤山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動





■ ⑥山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生

森林を活用したプログラムの導入実績がある企業に聞きました。

	回答数
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	208
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	199
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	167
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	139
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	155
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	163

担当部署・主導者はどちらですか？



30%以上を◎、25%以上を○

経営者がトップダウンで決めることが多い 次いで、人事労務担当	経営者 	人事 労務部 	CSR専門 の担当部 	広報 宣伝部 
従業員等の参加による森林整備や 環境保全などの活動	◎ 34.6	◎ 32.7	○ 29.8	○ 25.5
森林浴やアウトドアアクティビティ による従業員の健康づくり	○ 26.1	○ 27.1	○ 26.6	○ 24.6
山村地域での環境教育やアクティブ ラーニングなどの人材育成	○ 25.7	○ 27.5	○ 25.1	○ 25.7
山村地域でのリモートワークや ワークেশョンの推進	○ 25.2	◎ 30.2	○ 25.9	○ 23.7
山村地域とのつながりや地域住民 との交流を目的とした活動	○ 25.8	○ 23.9	○ 20.6	○ 29.0
山村地域での宿泊や観光へ の費用補助などの福利厚生	○ 25.8	◎ 34.4	○ 21.5	○ 25.2

(%)

導入したプログラムに関心を持ったきっかけは？



30%以上を◎、25%以上を○

地域事業者から直接連絡を受けたケースが多い 検索サイトがきっかけとなった割合は低い	地域事業者から 	イベントやセミナー 	ニュース・記事	自治体に問合せ	行政機関から	検索サイト
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	○ 26.9	○ 26.9	21.6	20.7	24.0	17.8
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	○ 25.1	○ 25.6	24.1	17.6	18.1	15.1
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	○ 28.7	24.0	24.0	16.2	22.8	17.4
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	◎ 30.2	24.5	23.0	20.9	23.0	20.9
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	◎ 32.3	○ 27.7	19.4	16.1	21.9	18.1
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	○ 27.6	22.1	22.1	20.2	22.1	16.6

(%)

導入の目的は？ (上位3つまで)




30%以上を◎、25%以上を○

従業員の環境教育や、健康増進が多い コミュニケーション促進も全分野で比較的高い	環境教育やボランティアへの意識の向上 	従業員の健康増進 	福利厚生の実 充	コミュニケーションの促進	企業イメージの向上	生産性向上	社会課題解決に向けた貢献
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	◎ 30.3	○ 26.0	14.9	16.3	10.6	9.6	15.9
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	24.6	◎ 30.2	20.6	17.1	8.5	12.1	10.6
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	◎ 31.1	22.2	14.4	16.8	6.6	12.0	10.2
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	○ 28.8	○ 26.6	13.7	18.7	6.5	12.2	7.2
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	20.6	20.6	13.5	18.1	7.7	11.0	12.3
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	○ 25.8	20.9	14.1	16.0	5.5	9.8	7.4

(%)

導入の決定要因は？（上位3つまで）




25%以上を◎、20%以上を○

内容や効果だけでなく、提供目的への共感も要因となる	プログラム内容が魅力的 	プログラム効果のエビデンス 	プログラム提供目的に共感 	費用が適切	自社都合にアレンジ可能	地域事業者等との連携強化	自社や自社関連施設から近い
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	◎ 26.9	○ 20.2	◎ 27.9	9.6	15.9	17.3	10.1
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	○ 20.6	○ 23.1	18.1	18.1	16.6	14.6	5.5
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	19.2	19.2	○ 22.2	14.4	17.4	16.8	7.2
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	18.7	◎ 25.9	18.7	17.3	18.0	11.5	7.2
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	17.4	17.4	19.4	8.4	21.3	14.8	12.9
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	16.6	○ 22.1	12.3	18.4	20.2	12.9	10.4

(%)

導入までの課題は？

30%以上を◎、25%以上を○

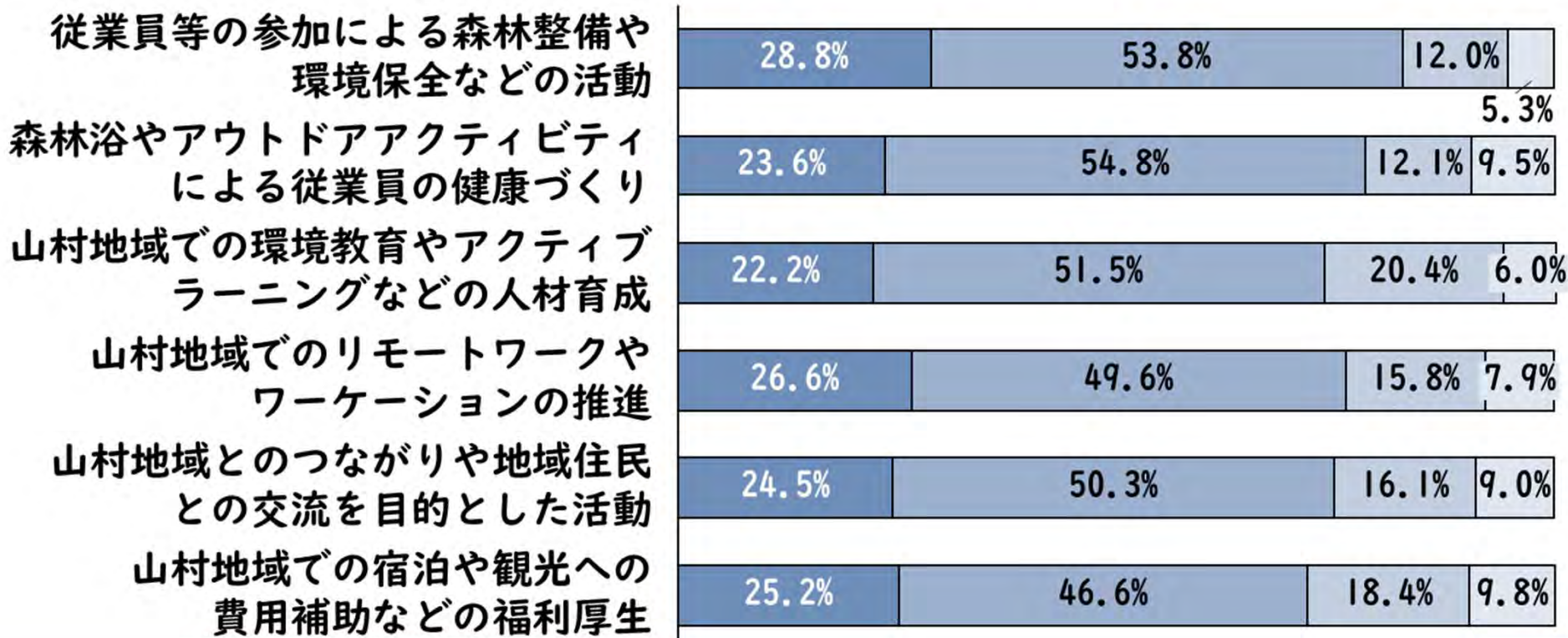
<p>情報が見つけられないこと、地域側の体制が課題</p>	<p>ニーズに合うプログラムの提供先が見つけられない</p> 	<p>ニーズに合う受入態勢が地域側にできていない</p> 	<p>費用対効果が明確でない</p> 	<p>受け入れ側との調整が進まない</p>	<p>情報の入手先や相談先が分からない</p>	<p>社内のコンセンサスが得られない</p>
<p>従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動</p>	<p>◎ 26.4</p>	<p>○ 18.3</p>	<p>○ 23.6</p>	<p>○ 15.4</p>	<p>○ 16.8</p>	<p>○ 13.5</p>
<p>森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり</p>	<p>◎ 27.1</p>	<p>○ 20.6</p>	<p>○ 20.6</p>	<p>○ 21.1</p>	<p>○ 11.6</p>	<p>○ 9.5</p>
<p>山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成</p>	<p>○ 22.8</p>	<p>○ 21.6</p>	<p>○ 20.4</p>	<p>○ 16.8</p>	<p>○ 15.0</p>	<p>○ 13.8</p>
<p>山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進</p>	<p>◎ 26.6</p>	<p>○ 22.3</p>	<p>○ 13.7</p>	<p>○ 13.7</p>	<p>○ 23.7</p>	<p>○ 15.8</p>
<p>山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動</p>	<p>◎ 27.1</p>	<p>○ 18.1</p>	<p>○ 18.1</p>	<p>○ 11.6</p>	<p>○ 17.4</p>	<p>○ 13.5</p>
<p>山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生</p>	<p>◎ 25.2</p>	<p>○ 20.9</p>	<p>○ 16.0</p>	<p>○ 18.4</p>	<p>○ 18.4</p>	<p>○ 15.3</p>

(%)

企業における導入の満足度は？




導入の満足度はすべての分野において非常に高い。

■ 大変満足 ■ 満足 ■ やや不満 ■ 大変不満



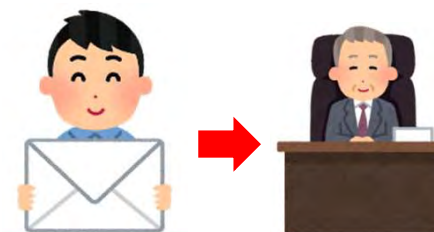
導入の効果は？ (上位3つまで)

25%以上を○、目的よりも5ポイント以上多いを↑

目的に応じた効果の他、福利厚生充実などが向上した	環境教育やボランティアへの意識の向上 	従業員の健康増進 	福利厚生の充実 	コミュニケーションの促進	企業イメージの向上	生産性向上	社会課題解決に向けた貢献
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	○ 28.4	○ 25.0	↑ 20.2	17.3	10.6	11.5	7.2
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	○ 25.6	○ 25.6	21.6	14.6	8.0	10.1	3.0
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	○ 28.7	19.2	16.8	13.2	5.4	11.4	5.4
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	22.3	18.7	18.0	13.7	5.8	15.8	5.0
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	○ 25.8	16.1	12.3	16.8	7.7	9.7	5.8
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	○ 25.2	16.6	↑ 22.1	13.5	6.1	11.0	4.3

(%)

実際に、森林を活用したプログラムの導入実績ある企業は…



地域事業者からの連絡を受けて

従業員の環境教育や、健康増進を目的として

プログラムの内容や効果だけでなく、提供目的へ共感して

経営者がトップダウンで決めることが多い。

その結果、従業員の環境教育やボランティアへの意識の向






上や従業員の健康増進といった効果を感じている。

森林を活用したプログラムの導入を検討している企業に聞きました。

	回答数
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	103
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	135
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	130
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	130
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	124
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	119

担当部署・主導者はどちらになりますか？





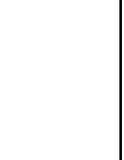
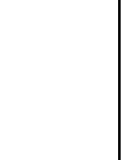

30%以上を◎、25%以上を○

<p>経営者や人事労務部が 担当になると考えている が、未定も多い</p>	<p>経営者 </p>	<p>人事 労務部 </p>	<p>CSR専門 の担当部 </p>	<p>広報 宣伝部 </p>	<p>未定 </p>
<p>従業員等の参加による森林整備や 環境保全などの活動</p>	○ 29.1	○ 28.2	14.6	17.5	○ 29.1
<p>森林浴やアウトドアアクティビティ による従業員の健康づくり</p>	◎ 32.6	○ 29.6	11.9	12.6	○ 26.7
<p>山村地域での環境教育やアクティブ ラーニングなどの人材育成</p>	○ 26.2	◎ 30.8	18.5	12.3	○ 27.7
<p>山村地域でのリモートワークや ワーケーションの推進</p>	20.8	◎ 30.0	20.8	13.1	◎ 30.0
<p>山村地域とのつながりや地域住民 との交流を目的とした活動</p>	19.4	○ 27.4	23.4	16.1	○ 28.2
<p>山村地域での宿泊や観光へ の費用補助などの福利厚生</p>	24.4	20.2	16.8	7.6	◎ 32.8

(%)

導入を検討する目的は？（上位3つまで）

30%以上を◎、25%以上を○

従業員の環境教育や、健康増進が多い コミュニケーション促進も全分野で比較的高い	環境教育やボランティアへの意識の向上 	従業員の健康増進 	福利厚生の実 	コミュニケーションの促進 	企業イメージの向上 	生産性向上 	社会課題解決に向けた貢献 
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	◎ 32.0	◎ 35.0	9.7	16.5	7.8	10.7	15.5
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	16.3	◎ 42.2	23.0	17.0	11.1	14.1	11.9
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	○ 25.4	23.8	12.3	16.2	6.9	14.6	13.8
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	23.1	23.1	13.8	13.8	6.9	16.2	13.8
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	24.2	22.6	16.9	21.0	10.5	6.5	12.1
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	18.5	◎ 31.1	20.2	11.8	10.9	7.6	12.6

(%)

重視する点は？ (上位3つまで)



30%以上を◎、25%以上を○

<p>内容が魅力的であることと、提供目的に共感することを重視する傾向</p>	<p>プログラム内容が魅力的</p> 	<p>プログラム効果のエビデンス</p> 	<p>プログラム提供目的に共感</p> 	<p>費用が適切</p>	<p>自社都合にアレンジ可能</p>	<p>地域事業者等との連携強化</p>	<p>自社や自社関連施設から近い</p>
<p>従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動</p>	<p>◎ 41.7</p>	<p>○ 24.3</p>	<p>○ 25.2</p>	<p>○ 22.3</p>	<p>○ 12.6</p>	<p>○ 9.7</p>	<p>○ 7.8</p>
<p>森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり</p>	<p>◎ 43.7</p>	<p>○ 22.2</p>	<p>○ 27.4</p>	<p>○ 25.2</p>	<p>○ 14.1</p>	<p>○ 8.9</p>	<p>○ 4.4</p>
<p>山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成</p>	<p>○ 26.2</p>	<p>○ 21.5</p>	<p>○ 25.4</p>	<p>○ 20.0</p>	<p>○ 15.4</p>	<p>○ 13.8</p>	<p>○ 8.5</p>
<p>山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進</p>	<p>◎ 31.5</p>	<p>○ 20.8</p>	<p>○ 24.6</p>	<p>○ 20.0</p>	<p>○ 15.4</p>	<p>○ 12.3</p>	<p>○ 3.8</p>
<p>山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動</p>	<p>○ 28.2</p>	<p>○ 21.0</p>	<p>○ 24.2</p>	<p>○ 17.7</p>	<p>○ 16.1</p>	<p>○ 15.3</p>	<p>○ 6.5</p>
<p>山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生</p>	<p>◎ 33.6</p>	<p>○ 16.8</p>	<p>○ 20.2</p>	<p>○ 24.4</p>	<p>○ 16.8</p>	<p>○ 11.8</p>	<p>○ 7.6</p>

(%)

導入していない理由は？


25%以上を◎、20%以上を○

費用負担と、連携相手との調整の手間が課題となっている	費用負担 	連携相手との調整に時間を要する 	必要な規定や制度を作るのに時間を要する	多くの従業員等の参加が見込めない	自社への効果が明確でない	具体的な問い合わせ先が分からない
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	○ 23.3	○ 21.4	18.4	18.4	11.7	13.6
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	◎ 25.9	16.3	17.0	16.3	14.1	17.0
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	○ 21.5	19.2	16.2	14.6	12.3	10.0
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	○ 22.3	11.5	18.5	14.6	17.7	11.5
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	19.4	8.9	19.4	11.3	16.1	11.3
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	○ 21.8	11.8	13.4	12.6	17.6	10.9

(%)

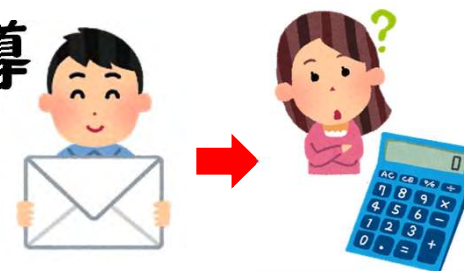
導入に向けて必要とするサポートは？

20%以上を◎、15%以上を○

企業のメリットが見える形にするのと同時に、相談窓口や補助金の割合が高い	費用対効果の可視化 	環境保全や地域振興等への貢献度を客観的に評価・PRできる仕組み	国や自治体等からの補助金	相談窓口	情報サイト	モニターツアーなどの体験	健康等への効果に関する情報提供
従業員等の参加による森林整備や環境保全などの活動	○ 16.5	○ 16.5	○ 16.5	○ 16.5	○ 18.4	○ 16.5	○ 12.6
森林浴やアウトドアアクティビティによる従業員の健康づくり	◎ 22.2	○ 12.6	○ 18.5	○ 17.8	○ 17.8	○ 11.1	○ 17.8
山村地域での環境教育やアクティブラーニングなどの人材育成	○ 14.6	◎ 20.0	○ 16.9	○ 17.7	○ 14.6	○ 13.8	○ 13.8
山村地域でのリモートワークやワーケーションの推進	○ 16.9	○ 15.4	○ 16.9	○ 14.6	○ 13.1	○ 12.3	○ 14.6
山村地域とのつながりや地域住民との交流を目的とした活動	○ 12.1	○ 12.9	○ 14.5	○ 18.5	○ 14.5	○ 14.5	○ 14.5
山村地域での宿泊や観光への費用補助などの福利厚生	○ 12.6	○ 12.6	○ 17.6	○ 11.8	○ 14.3	◎ 20.2	○ 13.4

(%)

これから、森林を活用したプログラムの導入を検討している企業は…



従業員の環境教育や、健康増進を目的として導入したいと考えており、プログラムの内容や提供する目的に注目している。しかし、企業内において、経営者や人事労務部の他に、誰が担当したらよいのかがまだ決まっていないことが多く、費用負担や地域との調整が課題になっている。そのため、企業のメリットが見える形にするのと同時に、相談窓口や補助金が後押しになると考えられている。

企業における 森のプログラムに対するニーズ

- 従業員の環境教育、健康増進、コミュニケーションの促進につながるようなプログラムへのニーズが高い。
- 内容が魅力的であるとともに、コンセプトが明確で、企業としてそれに共感できるプログラムが求められている。
- 効果が明確であったり、環境保全や地域振興等への貢献度を対外的にPRしやすいプログラムは導入しやすい。

企業が導入するにあたり 課題となっていること

- 企業に十分な情報が届いていない。関心をもった企業側からプログラム提供事業者を探すことが難しい状況。
- プログラム活用に要する費用に負担感がある。

<より多くの企業に活用いただくための方策>

- ・企業向けの情報発信やプロモーションを強化する。(地域毎に加え全国レベルでも)
- ・各地域において、プログラムを充実させるとともに、顧客相談窓口を設置する。
- ・企業にとっての活用メリットを経営層にも響くような形で分かりやすく提示する。
(数値で示せることは数値で、数値化が困難な事項は“利用者の声”等で示す)